

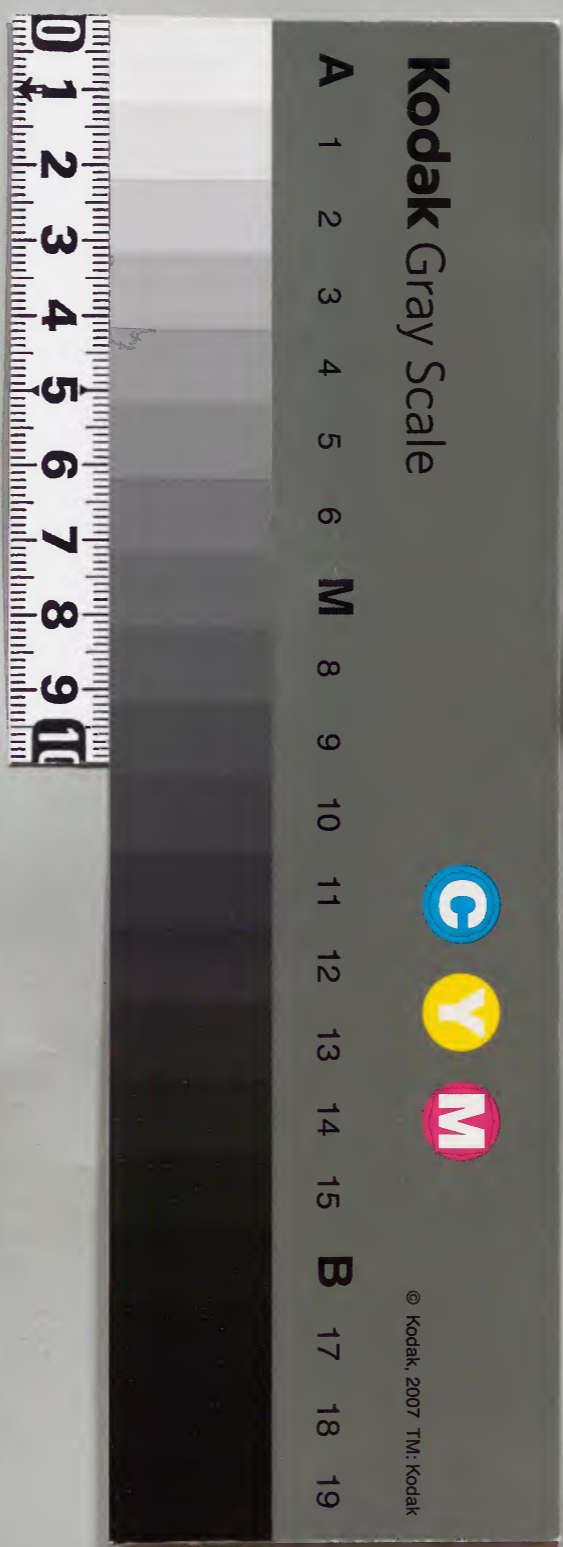
東照傳再加

一名東照傳武德集成

廿九

庫	文	閣	内
一五八函	一四架	五二冊	三三〇六一號
			和書類

内閣文庫	
番號	和 33061
冊數	52 (29)
函號	158 293



本清

東

東照傳再如卷二十九目錄

甲別強御付本為川尻遺書事

小保氏道中信書張事

肉/

東照傳再如卷

二十一

甲外強

天正十年

為小印

遠國近

又礼國

奉其小耗

國之關輝

上杉系

知付不為

月二日信長

善の口美因

又傳之

又礼國

奉其小耗

國之關輝

上杉系

害事

又子

國

海界

又礼國

奉其小耗

國之關輝

上杉系

作宗の毛利江月松代の森街藏
妙江とて上房あり登系依て
方小一掻起て我之江據奔り

家康云常孫下野と置次前在馬尉友
人江甲府へ江遣信長と来甲領忠臣の
書付と相遠不務り在之不々々
か川歴托後々重能ハ武田掃頼卿
印の後信長と甲列とて清利
岩村の妙江と入周とて大小者小

長とて国中の話生とて下
りありとて後々上國政幸と徳
市色とて甲列と名方とて江味と録
川傳とて江味と

家康云小書とて人車とて好々川原小
使とてとて山かしてとて後々
信長云川原と甲列と封とて
家康云とて作入とて川原車江藤
岡小孫とて万とて伊女抱取とて

市人小世了不し取和住し所の被治
有し以所不川尻方、形を御音合有
法事、以慈之有し、之共川尻、甲
列士種指揮不應事
家康公、以人し志す、と聞て、後
小八百住町人、以是、し御音、か、し
身方、亦、以、平、濃、列、公、石、具、し、半、し
取人、身、小、形、人、の、し、る、し、相、信、と
遠、不、然、列、公、小、信、長、公、薨、去、し、事、多、し、事、

信、之、の、満、信、志、し、領、知、御、捨、し、め、け
上、し、川、尻、十、甲、列、不、有、煩、事、也
家康公、以、平、不、為、法、在、遠、事、多、し、事、、石、具、し、半、し
川、尻、犯、事、し、知、事、の、事、命、し、被、甲、列、
有、事、信、之、の、法、領、主、苗、系、形、不、由、し
少、し、以、所、不、濟、し、一、揆、上、而、し、八、川、尻
有、人、甲、列、不、有、し、之、し、事、多、し、事、不
選、治、事、多、し、事、と、濟、人、を、持、以、時、八、川、尻、と
遠、上、し、一、表、上、治、の、事、多、し、事、八、川、列、通、し、

子細と言ふ

家康之陣石川虎村と難い下候の
中多し殺す所存も合とて薩國
と平とて随分川原為りしとて未だ
道分と海平の法も相誤りしとて未
遣一多も法正處の教も是れ
及平の事とて情れとて川原も
此殺す事とて所為有る各
中上とて信長とて作合所難

八相渡りしとて八人の殺す遣りし川原と
織とて未だ一丈八川原と二幕
中とて多し所存も合とて薩國
遣一甲別とて法正とて一揆蜂起
川原と責殺し種とて振舞も
この後存多しとて信長とて所為
如しとて多し所存も合とて薩國
遣りし所存も合とて薩國
群中とて信長とて

折木市在邊、西へ大久保、陣小池、
丁卯、身方、一、其、才、是、は、其、
川、竹、一、橋、所、攻、誘、ふ、下、一、と、
歸、り、武、川、津、合、の、西、黨、と、得、り、指、
集、く、先、返、小、池、一、橋、の、奴、原、遊、敵、
信、別、一、所、給、り、奉、向、丁、大、久、保、町、
家、康、之、沙、也、八、赤、合、折、木、の、御、
是、卯、辰、辰、有、り、の、以、是、因、右、邊、尉、
幸、政、

一、折、木、依、回、右、邊、作、有、り、非、也、
依、回、十、一、戸、回、十、二、役、小、五、
後、回、中、一、と、
分、小、降、和、一、甲、別、小、帰、り、御、
亡、く、其、小、遠、別、一、行、二、役、
隠、り、依、り、其、事、多、
八、先、年、五、別、二、役、の、城、中、渡、り、
別、回、中、の、城、小、巻、り、其、事、多、
大、久、保、七、所、右、邊、小、平、渡、り、信、別、小、

時分信長是れ小教りし人なり
即使く美濃へ一芦田と市川山所陳
管小正北此ハ山路と思へる別二使
小教りし人なり一芦田并村一上
下二人と乗りて彼地へ往小川村
忠い居たりし時大に保言を引
信長小正徳重と云作りし書あり
此度七所へ去馬所小教りし人なり
右邊小正領と云ふ信別へ送るハ

秀代ハ此ハ人懐多し
中一了後六時方迄
宛相成甲別と云ふと一抄
果田七九所一印印氣と一
町有し山方分小正
久教りし細りし一
小屋小正能者教りし
家康云虎の儀なり
と許す方早し

其田より石前へ引申領を相返る
右橋西目と施し候へ陣あり
即甲別小姓柏坂少陣取て計也
と云道系模田甚丑前小素より芦
田と交し深ふ故一敷し池系
是し甲別の士種名小終
若神より小りて其田小屋小入系
代の人数より其のく作して幸
後前幸
平右とより交り候てその場一

子系其田小屋と持望し後依田屋作
と系也同大
四日杉平又七前の家信り陣置と一換
原攻勢より家信り五人も能防只
斬ふ有欲し其家信謀り城其の
殺欲十系人河津系との首とと演
杉小をい多相り候り
即威し解し
小條氏直甲信申張幸
家系相別小田系の場より少條左系權

唯舟流印歩種丁六月廿八日信別
海麻川と歩流り岩鼻尾行
川中瀉小が浪千以对上杉京福
川中瀉と坂原と口西之百条別
と一平小丸備小作と大欲印盾
舟が流しと川中代藤信長武
勇強と如是と川中をく成事
大軍と去ると川の降る者難
とい名戦と川中形と川井

尾之瀉と渡り川中代藤信長武
以時遠別と川中代藤信長武
流小在陣と川中代藤信長武
大草朽倉長新と川中代藤信長武
甘多小酒弁在遠と川中代藤信長武
と瀉と六月廿八日信別
流小在陣と川中代藤信長武
川中代藤信長武
流小在陣と川中代藤信長武

屬の系根志乃小怒〜種系原の
無り〜屬の行と湯井の指揮系
慮り人をもその子に任ると遊割一武
車りより方とあり〜湯井の賢人
あり〜小怒の無り傷〜武直上二の
有
と無り〜梶原の原〜陣のあり又
甲別 吉原大村三石邊 同任あり
武直小怒の通〜河勢とあり
入〜小怒〜少條 漢國の武懸の系

系其の系根一〜下野の根〜少條
安房の武邦の其七の系八の根は
〜小佛の根と越〜惠林寺の系
少條左邊の佐武越の軍兵八の系
丹根の根と取内〜押〜人との系
大村の箇の根と陣〜奥列の
如勢の根と河〜河〜河
越〜河〜河の根と河〜河
少條の系小怒の系〜河〜河

徳小代 早世故男

家康之長子 中領之必法也

子の夢に驚く人 此の如く

城の勢と交る者 苗代川小池合大

急攻 大村小代 姑一揆 東

照 多之 柳の

合期 難 忽 利 大 敷

かす 元山 流 進 け ち 大村 小

姑一揆の 幕 百八十 余人 くら した 隆

奥 早 武 藏 上 早 叢 の 境 芦 嶋 之

か 大 村 之 始 一 揆 當 討 之

意 之 深 相 遠 一 早 一 揆 之

穂 坂 右 系 以 及 柳 功 小 依 一 所 感 懐

と 賜 梅 口 一 回 之 所 家 康 不 意 義

之 の 後 一 孫 黨 高 珍 託 一 早 一 揆 之

之 孫 七 前 存 之 一 早 一 揆 之 統 一 小

陣 下 大 湊 資 和 川 中 由 之 一 早 一 揆 之

穴 山 流 之 始 信 別 一 在 陣 之 統 一 早 一 揆 之

追へ 池解り 武川流も亦
教小陣乙柳の影舟か
世定、名四軍也 以り少條、陣

其方僅一里、半ぬり

氏道大軍のより、護原、道

備、大久保

同い、免角、者、芦田、少

氏道、甲別、か馬、

乙教、陣、流、の、御、

と、あ、八、嶽、と、世、

来、武道、口、万、

、あ、向、の、原、の、境、

下、惟、流、亦、小、

若、名、鶴、

と、多、乙、教、の、名、

下、の、案、内、者、

き、向、り、急、

人、君、陰、

、明、日、ハ、必、定、是、

道余三川元三と五万岩崎
道也下所方一人十討
行軍整
廣小
少條元
内
面々池
新
新

五河と湯
家康
七
所
之
次
亡親

在城武田と押下りて其後辛芳
分小以度富士中根方川末と接ふ
乃後夏の堤河津小五郎とく
少條元善根と敷く多御くつり
此の布く奇禦とくくく初智の
為り之故接ふ小芝原新九郎
同母波とくく度中々康雲并村
河津小勢見城とくく三別表
河津小勢見城とくく三別表

味小度多し富士の大宮通と壁
付内甲府小河津座方相又氏共
大布接とくく濱杉元の新藤
裁ふ小六郎の石新府の山小陳
川と接ふつり鳥雲小橋と接進
て戦ふと接と事と接と接と接
河津小勢見城と接と接と接
と接と接と接と接と接と接
付下りて備へ使りの地と接

百の兵と領一壘一山即ち一
少の横合ふ由一鉄砲と兼せよとの
可共くと進せし一鞆とく一と云一八山上
兵と兼し一山と云ふ

家康公ハ右府中一陣一久しい武直
軍ハ率ハ一即ち一人の如く武直
きり一少正に種自に往て救ふ
法はハ若くは地味一新府ハ地味
之身一力と云ふ一と云ハハ合し

承平平若七之脚真と云ふ一と云ふ
親吉道中一慮ハ敵勢と云ふ一
推せしハ一即ち一鞆一若くは一と云
進兵二三十騎ハ一掃平山一と云
一ハ一竹ノ葉の一山一と云
と云一急進一赤平若親吉
是ハ速し一防鞆一ハ一少正ハ
然ハ敵亡し一少正ハ一少正ハ
士曲削一法ハ一と云ハ一士曲削

日振振くと所々所々振垣足見
行是口と珍やと安ハ曲削某ハ
カとち持以石也と削々々柄頼ハ
込ハ常々作也ハ珍々々々信形共
ハの大割カハと感々々々信形共
小頼々々々々々々々々々々々々々
信形死々々々々々々々々々々信
里ハはく信里故有ハ信玄ハ成
敗々々々々々々々々々々々々々

と多信玄ハ振垣足見ハ
有ハ是ハ利ハハハハハ武辺ハ
無頼ハハハハハハハハハハハハハ
汝ハ神ハ振垣ハハハハハハハハ
計ハハハハハハハハハハハハハハ
那也汝ハ常國ハハハハハハハハ
甲別一國ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
為ハハハハハハハハハハハハハハ
有ハハハハハハハハハハハハハハ

然亦以信玄小異んとす十八是然
似る向後よの志の非中と改多
昔一志義とすくく一即山
縣小須一「曲削」流とわく
非小梅信と致と致一核一慶
賞と蒙一知一「百貫」とす
家康云常國卿一吾一「時卿」
屬一「一」一平右親吉附
られき一「曲削」一「略」

依下三別一「元」一「葉」一「月」一「中」一「備」一
平記道一「一」一「一」一「一」一「一」一「一」一
平一「一」一「一」一「一」一「一」一「一」一
若所一「一」一「一」一「一」一「一」一「一」一
一「一」一「一」一「一」一「一」一「一」一
天目山一「一」一「一」一「一」一「一」一「一」一
余其一「一」一「一」一「一」一「一」一「一」一
一「一」一「一」一「一」一「一」一「一」一

合戦所 捕利 是曲 削 是号 功
拔 祥 二 百 黄 岩 所 始
世 賜 二 百 黄 岩 所 始
月 八 日

取 康 云 沛 生 原 山 并 杉 杉 所 始
ハ 少 二 三 條 不 備 北 條 一 萬 陣
敵 の リ 二 三 條 不 備 北 條 一 萬 陣
戦 と 懸 付 所 不 次 の 日 新 府 不 懸
収 二 三 條 不 備 北 條 一 萬 陣

月 發 沛 次 在 橋 杉 杉 玄 善 以 後 湯 の
兵 三 十 余 人 討 捕 獲 二 三 條 不 備
間 孫 在 橋 杉 杉 玄 善 以 後 湯 の
多 月 發 杉 杉 兩 年 一 敵 二 百 七 年 一 人
討 捕 中 也 一 風 間 一 轉 の 二 三 條 不 備
と 所 不 次 在 所 兵 三 十 余 人 討 捕 獲 二 三 條 不 備
と 所 不 次 在 所 兵 三 十 余 人 討 捕 獲 二 三 條 不 備

式 記 小 云 月 發 杉 杉 一 萬 陣
下 野 一 萬 陣 一 萬 陣 一 萬 陣

大甲の若小若重し若御子
大須賀村原あり芳舎し七
百坪と云ふ費後中取と嘉徳
雜共三千是ハ缺くと右府人等
よりよゝ為り也ハ村山
鳥居居右邊百二十坪檢使
小之宅惣古鳥の菅泥者蔵
相之のの旨七百坪余
甲科一畝五分地あり之

氏直ハ信玄の孫なりハ同進
ありハ村山の御遠

又云天正十年七月十九日
家康云濱杉と御が馬廿二日
甲府小着御武川元ハ贈
氏直甲府人偏あり
同し御の御無多小り
濱杉の撒と云して御

軍中河川を渡りて六ヶ所
傍軍一相造りて當國六日
市より入るべき事なり且河
殺の爲相殺の麓り山
若くは橋河陣城なり
着河の節は爲入持郡平
藏と河軍一軍一古所
入る一條の館小河海濱者
所瀬古古造り日下其右邊

兩河を以て信玄掛頼二行武辺
場程行士の軍勢と邊り
道系月いりて山嶺由緒平橋
河一書付居ありて河合新
中の上を越りて河一軍一抱
方江作か向て書付居るに次の
日大久保新十所委去りて
甲別士軍河一橋りよりの
者中八ヶ所ありて清遠山に馬

御模回甚丑所

辛卯年卯和小二十九日未申一日未
去年乙天神の御任と賞入り

即ちの事に違ひなし

丑味之教誦伊庵

月藏之師上友源随亦同市兵

清弟之人过右清雨宮十右

邊父子之人市川伊清亦

今福求馬御初并右京川

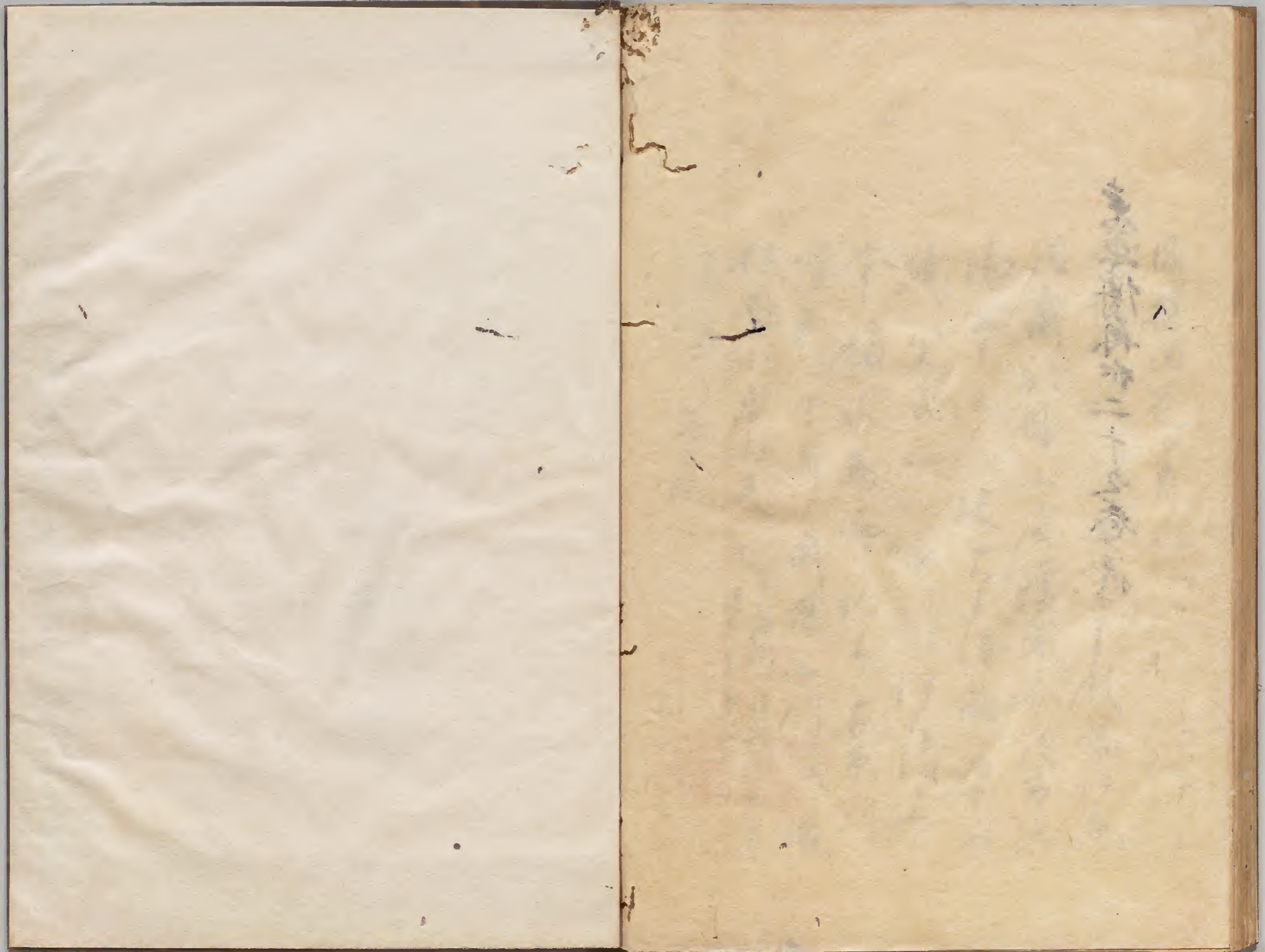
靈新十所武友三川入道

高額右寺也
入之御也

兄因始福初乃御氣
浮也也也



東照傳再和二十九卷終



Vertical text on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is faint and difficult to read, but appears to be in Japanese characters.

